

(一般質問)

| 質問日 | 令和2年9月30日(水) | | 質問方式 | 分割方式 | | | |
|------------------------|---|-----|------|------|---|--------|-------|
| 質問順位 | 6 | 会派名 | 創造浜松 | 議席番号 | 8 | 氏名 | 森田 賢児 |
| 表 題 | 質 問 内 容 | | | | | 答弁者の職名 | |
| 1 自治会組織の支援策について | <p>行政運営における市民協働の最大のパートナーであるのが自治会だが、昨今は様々な課題が顕在化している。高齢化が著しく運営もままならないことから、実際に自治会組織の解散を議論する町もあるように聞いている。役員の担い手不足は深刻で、複数の役職を兼任している人も少なくない。</p> <p>喫緊の課題である役員の担い手不足問題を解決し、自治会組織において持続的な住民自治を確保するため、これからの地域を担う人材を市が推薦するような仕組みを構築する考えはないか伺う。</p> | | | | | 鈴木市長 | |
| 2 馬込川水系河川整備計画の受け止めについて | <p>5年前の平成27年末時点において、全国1741市区町村のうち、平成18年から27年までの10年間に一度も河川の氾濫などによる水害が起きていないのは、わずか49市区町村で2.8%に過ぎない。残り97.2%の1692市区町村では10年間に1回以上の水害が起きており、さらには半数近くの830市区町村では10年間に10回以上の水害が発生していることから、もはや水害は身近な災害の一つだと言える。その状況下、本市は本年2月に総合雨水対策計画を作成し、また2か月後の4月には、県においても馬込川水系河川整備計画が作成された。</p> <p>本計画は国の同意も得た形でまとめられていることもあり、期待される成果等を市としてどのように受け止めているのか伺う。</p> | | | | | 高須土木部長 | |
| 3 小・中学校における性教育について | <p>今般のコロナ禍において、若年層の望まない妊娠が増加しているとの報道を目にした。それに伴ってか、日本の性教育の遅れを指摘する文献が散見されるようになった。再び沸き起こりつつある性教育の議論であるが、やみくもに時の論調に乗って進めることが最善とは限らない。</p> <p>平成4年は性教育元年とされ、学校では性教育が盛んに行われるようになったが、当時その指導方法を巡って様々な議論を呼んだ。教育は連綿と続く人づくり。人づくりは国づくり。先例がある以上、それらがしっかりと総括されていない限り、未来の議論が洗練されることも進化していくこともないと考える。その上で、以下3点伺う。</p> <p>(1) 本市の小・中学校における現在の性教育に対する考え方と、道徳教育の在り方について伺う。</p> | | | | | 花井教育長 | |

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

| 表 題 | 質 問 内 容 | 答弁者の職名 |
|-----|--|---|
| | <p>(2) 健康増進課が作成している思春期教室の資料について、発育段階にある女子中学生のピル(経口避妊薬)使用についての記載の見直しや、望まない妊娠や性感染症の抑止を図るために内容の見直しを図る考えはないか伺う。</p> <p>(3) 市立図書館の児童図書コーナーにおける性教育関連図書については、教育上の観点から内容をより精査していく考えはないか伺う。</p> | <p>鈴木医療担当 部長</p> <p>中村文化振興 担当部長</p> |